

**榎谷議員** おはようございます。通告順に一般質問させていただきます。よろしくお願いいたします。まず、最初に海部老人ホーム新たな今後の取り組みについて、海部郡3町で取り組まれています、海部老人ホーム町村組合養護老人ホームについて、お伺いいたします。以前に議会で視察にも行ってありますが老朽化が進んでおり、また、現在のニーズの観点からおいても今後の取り組みが不可欠と思います。そこで、現在の進捗状況と今後の取り組みと見解をお聞きいたします。また、30年以内に30%との予想を遥かに超えた60%予想に引き上げられました、南海、東南海における耐震検査の結果や補強工事などはどうなのか、さらに、鬼ヶ岩屋温泉、上善の湯やモラスコむぎなどのように、民間委託なども検討されているのかも併せてお聞きいたします。次に幼小中一元化に向けての牟岐中移転の建設の進捗状況は。幼小中一元化に向けての取り組みは、国、県においても了解をいただいている訳ですが、牟岐中学校における保育所、小学校校舎建築において、検討委員会などで施設、設備に関する事など話し合われていると思いますが、どのような段階に至っているのか、また、建設完成までの南海、東南海地震の備えとして、河内小学校、牟岐小学校などの当面の対策として、安全、安心の確保として、現在の施設を活用しての本議会にも予算の計上がされていますが、本議会に計上されていない最も危険であろう西保育所の対策はどのように進めて行くのかお聞きいたします。また、統合後の西保育所、東保育所、河内小学校の校舎の活用は、どのようにされるのか、耐震規定に問題があるので、更地にするのか、活用できるものは活用していくのか、そうであれば、どういった方法で利用するのか、耐震補強工事は、どうするのか、お聞きいたします。また、中学校における運動場の工場の状況はどうなのか、地権者との話し合いは解決に至っているのか、併せてお聞きいたします。また、校舎の青写真は検討されていると思いますが、具体的にどこまで進んでいるのか、建設工事の着工、完成はいつ頃の予定か見解をお聞きいたします。近く来るであろうと予想されている南海、東南海地震に備え一日でも早い取り組みが必要と思いますが、現在の進捗状況をお聞きいたします。次に3点目にあります、放送チャイムの改善に移ります。現在、1日4回のチャイムを鳴らしていますが、以前にもチャイムの変更ということで話は出たと記憶しているのですが、話がそのまま途絶えてしまったように思います。現在、音程の外れたチャイムが流れていますが、近隣町では朝、夕に違うメロディー流すなど工夫をしています。牟岐港節とか、童謡とか或いは、12月には町の親善大使第1号にもなりました、小島章司さんの故郷として、フラメンコの曲を流すとか、何か牟岐独自の発想で変更してはどうか提案いたします。以上、3点について答弁をお願いいたします。

議長 大神町長。

町長 おはようございます。榎谷議員のご質問に3点、基本的なことをお答えいたしたいと思います。まず、1点目の海部老人ホームの今後の取り組みについてという件でございますが、ご存知のように、今後予測される超高齢者会の到来を見据えまして、高齢者を取りまく家庭環境の変化、高齢者の経済状況等を考慮しまして、居宅において養護を受けることが困難な人を受け入れる養護老人ホームはもちろんのことでございますが、高齢者向けの住宅、或いは、ケアハウス、高齢者共同住宅等、地域での自立生活が維持できるように高齢者の生活の場の確保に向けた広範な取り組みも必要となっているのは、ご承知のとおりでございます。限られた財源の中で福祉サービスの充実を図るためにも、行財政全般にわたる改革を積極的かつ計画的に進めることが求められているのは実情であります。現在の海部老人ホームは、昭和56年に改築されて以来29年でしょうか、経過しております。老朽化の進行、雨漏りなどがありまして、特に最近では、個室化が進められる状況ですけれども、殆ど昔のままの2人の相部屋というのが実情でございます。そのことから近年中の改築が必要となるというふうなこととか、経営上のメリットや効率性のある運営という勘案した総合的な施設整備が必要となっているのは、ご質問にあったとおりでございます。一方、海部老人ホームのこの数年の決算の状況では、毎年3町ですけれども、5千数百万円の分担金により、実質的な赤字の解消を行っているのが事実であります。海部3町が人口比とか、色々負担割合が違いますけれども、各組長が、例えば、ゴミ処理は牟岐町、或いは、海部消防が美波町、老人ホーム、或いは、特別養護老人ホームについては海陽町というふうに振り分けて責任者、管理者として振り分けられておりました。海部老人ホームは牟岐町にあるので、牟岐町で管理して欲しいというふうなことで、昨年5月から海部老人ホームの管理者として管理しております。そこで、実は、昨年の一部事務組合の町村会の会議で、老人ホームは民間委託管理に移管してはどうかという意見が出まして、そこで検討しようということで、1年過ぎました。先日の3町、海部郡町村長会では、一応、そういうふうな昨年の方向付けからどっちにしようかということで、話題になりましたけれども、今、民間委託をしようということで、はっきり決定はしておりません。その方向で検討しようということで、今、きております。厳しい財政状況の中で、従前の公設でなくて、民営化すること、或いは、専門職の確保とか徹底した管理運営が可能となるような柔軟性があるよう

なサービスの提供が民営化によって期待されるのではないかというふうなのも勿論でございますし、また、忽ち雨漏りとか改築とかいうふうな施設についても民間資金を活用すると言いますか、例えば、PFIとかいうふうなこととか、柔軟で自由かつ大胆な施設づくりができる。民間経営による改築事業を目指して関係者の意見を十分聞く中で、海部老人ホームの民営化への検討を進めようというふうなことになってございます。今後、具体的な方針が、まだ町村会で検討しようということで、結論が出ておりません。議員各位にご相談申し上げますけれども、その節は、ご指導のほどお願いいたしたいと思います。尚、他所の昨今の施設は、個室でありまして、相部屋というのが少ないのです。牟岐の今のところ定員が50名で、42名の入室者があるようです。牟岐が23名、海陽町が18名、美波町が1名、尚、参考までに申し上げますと、一昨日の予算案にも提示して数字を上げておりますが、牟岐町で12,939千円の負担を行っております。ついでですが、海陽町が23,690千円、16,360千円というふうな財政支出状況です。尚、余談のことですが、海陽町は、美波町はここ5年一人も入室者は無かったということで、こんなお金勿体無い、払えないというふうな話もあったりして、今、1名入っているのですけれども、1名にしても、それにしても16,000千円も負担して合わない話だというふうな、そういうふうなざっくばらんに申し上げますと、話もあります。それとまた、来年度は、特別各個室に火災報知器の設置が義務付けられるような、そういうようなことでもある訳です。それら、これらを勘案しまして、海部郡町村会では、今、老人ホームを民間、勿論、2年ほどかけて、それと、あそこの場所の敷地は、海部郡町村会の敷地の名目になっているようでございます。民間移管というふうなことになりましたら、どこにするかとかいうふうな具体的な受入先、或いは、その条件、色々検討しなければいけないことかと思っておりますけれども、これは町村会の方でも検討した上で、特に今、牟岐にあるので、一応、牟岐の方で考えて欲しいというような、そういうふうな話も内々に伺っております。このまま施設の改築とか、大規模なお金を必要とする訳でございますので、そこら辺りを十分検討した上で方向を決めたいと思います。という老人ホームについての今の現状、成り行きについて申し上げました。2点目の学校統合の問題でございます。以前にもお話ししましたが、中学校の市宇谷地区へ牟岐小学校、河内小学校、合わせて保育所、給食センターも合わせてということで、地権者交渉も行っておりまして、一応、地権者の承認は得まして、埋め立てというふうなことに、今現在工事が行われております。今後の校舎の配置とか基本設計、これは教育委員会中心に幾つか検討委員会、4つでしたか、また、教育委員会から詳しく報告があるうかと

と思いますが、今、基本設計に向けて検討、それぞれご意見を聞いておるところでございます。小中の統合につきましては、県下では、今、佐那河内村が具体的に建築の方向に入っているようですが、保育所、給食センターを含めた大合併は、本町は県下最初だというふうなことを伺っております。そういうような意味では、注目もされておるようですけども、折角の機会ですし、最初は南校舎の耐震化の不備によって、ここへ統合というふうな検討もなされておりましたけれども、一応、安全、安心というようなことで、空き地を取得しまして、あそこで画期的と言いますか、両保育所、河内小学校、牟岐小学校と一代と言ったら語弊がありますが、教育エリアとしての理想的な教育環境というようなことで、意気込んでおる訳ですけども、外部からと言いますか、教育関係、委員会関係、県の委員会関係も注目を浴びておるような状況であります。詳しい具体的なプログラム、スケジュールにつきましては、また、教育委員会の担当者から説明申し上げます。3項目のチャイムについてですが、以前、今の長年親しんでおりましたキンコンカンの4回ですか、時刻を知らせる町内放送ですけども、色々意見がございまして、電話があつて、朝早くからカンカン鳴らさないで下さいというふうなお叱りの電話があつたり、また、先日機械の故障で放送が途絶えたのが2回ほどあったようでございますが、何で鳴らさないのですか、それを当てにしているというふうなお叱りと言いますか、そういうふうな色々大勢ですので、そんな通報、連絡があつたりしました。今のチャイムは長年、何十年と言いますか、具体的な日数はともかくとして、全国の共通のキンコンカンと言いますか、馴染みの何ですが、前に大漁節はどうかと、或いは、また、フラメンコダンサーの小島章司さんののをアレンジしてはどうか。実は小島章司さんに言いましたら、それは使って欲しいと、そのフラメンコの原曲は、ちょっと具合が悪い、それには出来ないので、アレンジしてチャイム用に編曲するのですか、それをスペインでは有名な名前を言っていましたけれども、小島章司用に作曲したがあるので、それを使って下さいというふうなことで、実はそれがなかなか届きませんでした。先日2月に来られた時にやっと出来たのでということで、私のところに持ってきてくれました。それをアレンジするのですが、実は、あのキンコンカンというふうな何にテープと言いますか、自動的にスイッチが入って、こうする分ですが、これをまたやり変えなければいけない。これで前にご相談申し上げましたが、大漁節とフラメンコと或いは、また、夕焼け小焼けというメロディー、これは既製品があります。カラスなぜ鳴くのというものもあります。これは皆さんのご意見もお聞きしまして、議会の皆さんのご意見とか、私個人の意見ですけども、中学生あたりに今までどおりが良いとかいうふうなことでア

ンケートを取って出来ればということなのですが、ところが、今一つ大漁節とフラメンコのメロディーを放送用にするのにちょっとお金が掛かる。ただ、会社との交渉がこれからです。パイプオルガンみたいななど自慢の時の合格、ああいうふうな方向にして放送用にするのだそうです。あまりお金が掛かりすぎるようなことでは、困りますし、また、今のが良いという人もあろうかと思しますので、また、このことは出来れば、折角小島章司さんの今度の大事業、文化功労者とかいうことで、僥ぶと言いますか、世界的な作曲家のメロディーが使えれば良いのになあということをおもっています。これについては、ちょっと途絶えておりましたが、実情はそういうふうなことです。また、ご相談申し上げるといふふうなことで、色々、大勢冒頭で申し上げましたように、大勢の意見を全員満足は出来ないかと思いますが、そういうふうな特色のあるメロディーと言いますか、報知チャイムになれば良いのになあということ、現状の所はそういうことで以上、あと詳しいことは担当者からご説明申し上げます。以上です。

**議長** 大梅教育次長。

**大梅教育次長** それでは、榎谷議員の質問にお答えをしたいと思います。質問内容は保育所、小学校、中学校一元化に向けての中学校に移転の進捗状況。それから、校舎の建設の進捗状況。その中で地権者の用地の関係の進捗状況。校舎の青写真という質問であったと思います。平成21年度6月の議会におきまして、学校統合事業運動用地購入費といたしまして、35,000千円が予算計上されました。その後、用地地権者個別に事業の説明を開始いたしました。事業の説明の中で、事業を進める中で事業を進めるに当たり、色んな点で変更が生じ、代替用地の確保や、道路用地の確保、河川用地の購入費を9月議会で12,050千円を予算化をいたしました。その内の河川改修に伴う予算は産業建設課で計上しております。用地取得に伴う税務署への申請をこの後行いまして、税務署からの許可が10月30日にあり、それから関係者地権者個別に用地の買収、所有権移転業務を開始いたしました。21年11月末には、工事完了後でない登記を行えない地権者を除き、その時点で計画した用地の確保と登記手続きが完了いたしました。最終状況は学校統合に伴う運動場用地関係者は、17件52筆、面積といたしましては、12,071.22㎡、河川用地2件で2筆176㎡、合計12,247.22㎡の用地を確保いたしました。今、ご存知のように現在は、盛土土砂受入のために仮設道を設置し、随時盛土に適した土砂を受け入れております。どうしても軟弱な地盤でご

ざいますので、盛土の適した物を選んで埋め立てをしております。ということで、用地の方は計画どおりの購入が進んでおります。校舎建設については、教育関係職員、また、保護者の代表で組織された統合検討委員会や学校統合建設小委員会を結成し、校舎建設構想を今現在策定中であります。会議は年度末ですので、2月に1回して、3月に1回するという計画です。4月に入りますと、どうしても職員、学校の先生、PTAの人が変わりますので、再度小委員会の人選をいたしまして進めて行きたいと思っております。そして、平成22年当初には基本設計等の予算化が計上される予定です。今回もこの議会で提案をさせていただいております。構想案が決まりましたら、20年度の早めに基本設計を行い、実施設計、実施というような運びになります。小委員会も建設だけの小委員会ではなしに、諸々の物事を解決していかなければいけないため、小中一貫教育の小委員会、それから、学校運営に対する小委員会、給食建設に伴います小委員会、通学に伴います小委員会ということで、このような5つの小委員会を作りまして、皆様のご意見を聞きながら、より良い学園都市の建設に向けて計画を行っております。そうすることで、完成の予定として、平成24年度中に完成として事業を進めて行きたいと思っております。榎谷議員さんの中で河内小学校の跡地の活用ということを少し言われておりましたけれども、これは、学校が統合されますので、また、別の組織で今後のそういう建物の協議はされると思っております。それともう一つは耐震化の問題ですけども、中学校の耐震の補強でございますけども、今現在、実施設計の作成をしております。どうしても設計は早いんですけども、評価委員さんの評価という仕事があるということで、補強の事業としては74,000千円を計上させていただいておりますけども、繰越をして22年度には早く安全な中学校舎の建設に努めたいと思っております。以上です。

**議長** 仁田課長、保育所の分いきますか。

**仁田住民福祉課長** 榎谷議員さんのご質問の中で、一元化に向けての進捗状況ということで、保育所の統合に向けての取り組みの状況について、お答えをさせていただきたいと思っております。今までの取り組みの状況でございますが、昨年12月の16日に保護者会の役員の方にお集まりいただきまして、保育所統合に向けての説明会を開催させていただきました。これまでの経過、協議とか、経過の説明や今後の検討委員会を設置して協議を進めていくことについての同意をいただきました。さらに12月の末には保育所の保護者全員に対しましてアンケート用紙をお配りいたしまして、統合に向けての意見

や要望について出していただきました。その後、1月に入りまして、先に保護者会の役員さんにご同意いただきました、保育所統合検討委員会を保護者の代表者5名と保育所並びに住民福祉課職員5名の計10名で設置でいたしまして、1月20日に第1回の検討委員会を開催しております。そこでは保護者に対して行いましたアンケートの結果をそれぞれ皆さんに見ていただくとともに、今後の協議の進め方について話し合いました。保育所の建設につきましては、まずは中学校の敷地の中で小学校と中学校が協議する中で小学校の校舎の建設場所が決まり、この結果を受けて保育所の建設場所を決めていくことになるのではないかとということもありまして、検討委員会では統合保育所の具体的な話にはまだなっていませんが、2月26日には小松島市内にございます一昨年建設された民間の保育所を見学に行くなど、これからの本格的な協議に向けての準備を現在進めているところでございます。以上でございます。

**議長** 榎谷議員。

**榎谷議員** 再問いたします。海部老人ホームのことでございますが、まず、1点目の質問でございますが、これについて民間委託の話はいつ頃出たのでしょうか。この間、ちょっと海陽町の町長とお会いする機会がありまして、少し話をしたのですが、やっぱりこれは主張が変わっていくので、話が出て変わってしまう、話が出て変わってしまうというようなことで、なかなか実行の方に進められないのが現状であるというふうなことをおっしゃられていましたので、まず、2、3年は掛かると思いますので、できるだけ早い時点で、今まで話が出て途絶え、話が出て途絶えとしているのですから、今の海部老人ホームの現状を見ましてもそんなに何年も放置しておくような状態ではないと思いますので、出来るだけ早く解決の方に持っていただきたいと、そのように思います。やっぱり耐震も昭和56年に、29年経っておりますので、耐震という観点からおいても大変危ないと思いますので、3町で協議して出来るだけ早い時点でやっていただきたいというふうに思います。また、2点目にあります中学校移転の分でございますけれども、先程から小委員会とか統合委員会のお話が出ましたけれども、保育所の小委員会とか統合委員会は実際出来ているのでしょうか。それが1点、それと、河内小学校、或いは東保育所、この跡地についても、まだ移転していないから後で良いという話ではなくて、やはりきちっとお話しを先に進めておかないと、次々とお話しが出来ないかと思っておりますので、これは耐震が駄目で行くということですので、もし、それを使うとい

うことになったら、この耐震の強化、それをどういうふうにしていくのか。この間、この日曜日に上板の方に行っていたのですが、こういった保育所の跡地を利用して陶器をしたり草木染をしたり、色んな方法で使われているようなのです。特に東の保育所はバリアフリーになっていますので、そういうような使い道は、お年寄りも含めて検討しても良いのではないかと、そういうふうに思います。西の方については、耐震的にはかなり難しいのではないかと思いますので、絶対使わない。今後も耐震をするには沢山の財源がいるというふうな跡地については、更地にするというふうなことも含めて検討したらと思いますけども、この辺りの再問をお願いします。それから、放送チャイムの改善の方ですけれども、牟岐みなと節、そういったものがしていると思いますので、朝のチャイムは要らないという人もいるという人もいるのですが、朝のチャイムはやっぱり漁師の方で要るということがありますので、漁師の方の牟岐みなと節をすとか、2番目にはフラメンコとか、夕方5時ぐらいには夕焼け小焼けというようなもので帰しましょうというふうなものをすとか、また、9時にはフラメンコをすとかいうふうなことで、交互に入れても良いのではないかと、1種類ではなくて交互に入れても良いのではないかとそういうふうに思います。ちょっと前後しましたけども、小学校の一元化に向けては、南海、東南海地震に向けての1日でも早い取り組みが必要とされています。運動場の工事が一時ストップしたので、どんなのかと思って聞いた話でございますが、事実かどうか分かりませんが、田んぼがじゅる田なのです。それを上から埋めていたと、それでは駄目だということで、一旦取って新たに埋め直しをしたということも聞いておりますので、そういったことで1日でも早い取り組みが必要とされる中で、出来るだけ業者もそういったノウハウを持って進めていただきたいと思います。以上、再問の答弁をよろしくをお願いします。

**議長** 大神町長。

**町長** 再答いたします。海部老人ホームは、実は方向に進んでいるということなのですが、実は従業員、あそこに勤めている人からの、あそこは組合がありまして、自分達のことさることながら、自分達が民間委託すると不幸になるという、しかし、一応、組合の意向はお聞きします。しかし、経営母体が海部郡町村会であるということで、多額の助成金を依頼している以上、どこにするかというふうなのは、これから考慮するなり、今のところもう一つ踏み込んで答弁申し上げますと、日和佐の東紅会、緑風荘、それと

和楽ですか、3件の申し入れが手を挙げております。これを考慮して広く皆さんからのこれは全国的な規模で何があるかと思えますけれども、そういうようなことで少なくとも移管に向けての色々な用地の問題も去ることながら、勿論人員の受入のこと、2年ぐらいはソフトランニングと言いますか、行かなければいけないというふうなことになるかと思えます。即、民間委託というふうなことには、なかなか事務的なことがありますので、しかも議会の承認もある程度それに向けての必要性もあるということも、勿論、海陽町も美波町もということで、今、積極的にご支援というか、ご意見があったということも踏まえて、海部郡町村会の方で民間委託への移行に対しての手続きを進めていくようになるかと思えますので、その点ご理解いただけたらと思えます。それから、保育所の敷地の跡地の問題ですが、ご存知のように東の保育所は民間地で借用地ですので、これは地権者の貸借関係がありますので、一旦お返しするということになるかと思えます。西の保育所は町有地のようですので、これはまた後で。それから、河内小学校につきましては、グラウンドは一部私用地ですので、地権者の思惑と言いますか、何もあろうかと思えますので、それは、校舎の体育館に入るセメントがあるのですが、あの分は町有地だということですので、地域の人との意見もお聞きして六角校舎の利用については、改めて相談しなければいけないと思えます。保育所の2つの老朽化して雨漏りもあるという現実も踏まえて、耐震化、いつ来るか分からないし、事故があっても困るし、ここの役場庁舎もそうですが、一部雨漏りの修理とか現実にやらなければ、事務が取れませんので、或いは、保育も出来ませんので、そういうようなことは、膏藥を張りながらそれまで壊滅的な園舎で園児が事故というようなこと、そんなことがないように念じながら無駄なお金も使いたくないしということで、向こうに移転。先程の教育次長の話にもありましたように保育所も向こうに一貫した教育エリアの方向に向けて、タイムスケジュールは、先程の方法のような形になってございますので、色々ご意見をお伺いして良いものにしたいと思えます。チャイムにつきましては沢山のご意見もあろうかと思えますし、出来るだけ無駄な費用を掛けないように、折角の機会ですし、ついですが、14日に小島章司さんの祝賀会が東京でございます。内外の文化人500人の集会があるようで、私も発起人として知事と一緒に出席する手筈となっておりますけれども、またと無い小島章司さんの、併せてふるさと大使の辞令も委嘱状もその場でお渡しするというふうなことで行って来ようかと思えますが、それは別としてチャイムを技術的な面で会社と放送をリンクして、いつどこで4つのどこで何をするか、鳴らすかと言うことは、アンケートみたいなのを取れば良いなと思っておりますので、また、ご相談申

上げますので、よろしくお願いいたします。以上です。